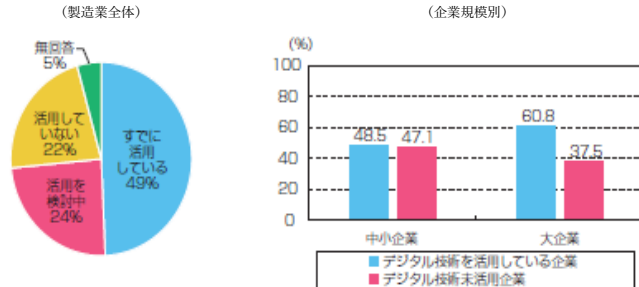


技術革新の加速化、コロナ禍による変化

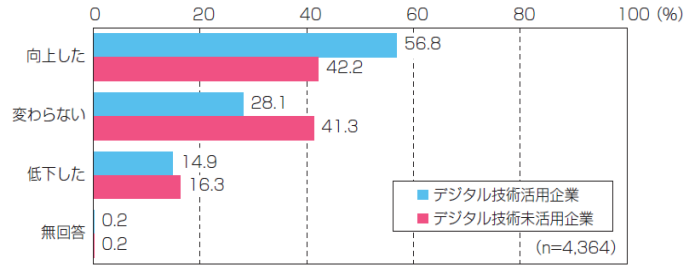
デジタル技術活用の広がり

- AIやIoTなどの次世代技術を核に第4次産業革命が進展、Society5.0時代の到来
- デジタル技術を活用できる人材の育成が課題



資料：JILPT「デジタル技術の進展に対応したものづくり人材の確保・育成に関する調査」

ものづくりの工程・活動におけるデジタル人材の活用状況



資料：JILPT「デジタル技術の進展に対応したものづくり人材の確保・育成に関する調査」

デジタル技術の活用と3年前と比較した自社の労働生産性

コロナ禍に起因する社会の変化

- 新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による雇用の悪化や経済活動の停滞
- 感染防止の取組により働き方の多様化、社会のデジタル化が進む
 - ・ 職場：オンライン会議の導入、テレワークの取組拡大
 - ・ 教育現場：オンライン授業の活用

新型コロナの影響下でテレワークを経験した人の割合
全国平均で約35%（内閣府調べ）

持続可能な社会を目指す機運の高まり

- 交通（自動車）分野：電動化の加速、EVやFCVの本格的な普及
- 建物（住宅）分野：ZEHの普及、省エネ改修ニーズの高まり
- エネルギー分野：太陽光発電・蓄電池設備の普及
- 持続可能な社会づくりに向けた機運の世界的な高まり（SDGs）

国のグリーン成長戦略
自動車
 2030年代半ばまでに
 新車販売を電動車に
住宅
 2030年までに新築平均で
 排出量ゼロ

人口構造と働き方の変化

急速に進む少子高齢化と働く女性の増加

- 新規高卒者の減少
- 年少人口・生産年齢人口の減少、老年人口の増加
- 女性の有業率上昇（M字カーブ改善）

【参考】第1回審議会「参考資料」5～6頁

【参考】第1回審議会「参考資料」17頁

職業能力開発をめぐる最新の動向

企業の人材育成状況（長野県景気動向調査付帯調査）

- 調査対象企業の約3割がOFF-JTの見直しに着手、半数以上が社外との連携による人材育成を検討
- 製造業の約半数、非製造業の約4割が、デジタル技術の進展への対応が必要と認識

ジョブ型雇用拡大の可能性

- 大企業を中心にジョブ型雇用導入の動きが広がる
- 新型コロナウイルス感染症が導入拡大の契機になる可能性

「ジョブ型雇用」の導入状況 「導入している」12.3%、従業員5,000人以上では19.8%
 新型コロナウイルス感染症の「ジョブ型雇用」への影響 「議論が進んだ」24.8%（株式会社リクルートキャリア調べ）